

令和6年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【大谷中】

⑥	次年度への課題と授業改善策
知識・技能	次年度に向けて (3月)
思考・判断・表現	

①	今年度の課題と授業改善策	
	学習上・指導上の課題	授業改善策【評価方法】
知識・技能	<学習上の課題> 基礎的・基本的な知識・技能の習得状況が二極化している。 <指導上の課題> 習得した知識・技能を活用する学習を、全体指導で設定しにくく、また個別指導が十分に確保できない。	⇒ ドリルパークやスタディサプリを活用 テスト前学習会や質問会の実施 授業時間内での復習の時間や演習の時間の設定 定期テストでの習熟度の確認
思考・判断・表現	<学習上の課題> 「思考判断表現」の記述式問題の正答率が二極化し、要点を押さえての回答に課題がある。 <指導上の課題> 学習内容を全体で設置しずらく、個別指導が十分に確保できない。	⇒ 各授業でオクリンク等を活用した、自他の意見を発信・共有する「学び合い」の実施 授業終了での「自己の振り返り」の実施 プレゼン力向上(声の抑揚や話すスピード、間の取り方など)基本スキルの習得

⑤	評価(※)	調査結果 授業改善策の達成状況
知識・技能		①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等
思考・判断・表現		

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)	
知識・技能	①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握)	
思考・判断・表現		

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	
思考・判断・表現	

③	中間期報告	中間期見直し
	評価(※)	授業改善策の達成状況
知識・技能		
思考・判断・表現		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)